

未来志向のチャートを使ってみる

世界中のマーケット情報を一つのチャートに表示でき、最新インジケーターも簡単に表示できる機能が無料で使えるなら？そんな機能を提供しているサービスの一つがトレーディングビューです。

インストールの手間が要らず最新インジケーターが一発で使え、外出先ではスマホで設定を引き継ぐことができる無料チャートはありますか？

2014 年の夏も終わりかけたころに受講生から受け取った質問です。当時(今でも?)の主流は MT4 でビルドが変わるたびに使っていたインジケーターが表示されなくなるバグが頻発したりと、不満を持っていたユーザーも多かった頃。

時を同じくして突如現れたトレーディングビューは英語圏を中心に口コミでユーザー数が増えてきた頃で、誰でもブラウザさえあれば使える便利さで、ブログで少しだけ紹介をしていたころがあります。

今では日本語化も完了し、利用に抵抗を感じる方も減ったことから当地でも人気が上昇をしているようで、何回かの記事に分けて簡単な使い方やコツなどを紹介してみたいと思います。

ココがすごい ①

スマホでもパソコンでもウェブ上で同期し設定が引き継げる

ユーザーアカウントさえ作ってしまえば、自分で設定したチャートやインジケーターなどは、いつでも、どの端末からでも同じように読みだすことができます。

下のチャートはパソコン上で表示した事例です。



そして表示画面をアカウントに保存して、iphone で読みだした画像はこちら。



ともに tradingview.com から許可を得て掲載

自分で設定したパラメーターや画面表示設定などを、面倒な設定無しでブラウザさえあれば取り出せる便利さを味わってしまうと、もとはには戻れなくなる程の強烈さがあります。

ココがすごい ②

タブレットでもチャートが表示できる

今では一般的になりましたが、このサイトは当時から HTML5 という言語で書かれており、Flash 等に依存していないため、ipad や iphone でもブラウザから直接読み込めるという先進的な取り組みをしていました。

いまでも少し古めのウェブサイトを iPhone から訪問すると、「Flash が必要なため表示できません」などというメッセージにブロックされた経験を持つ方もいらっしゃると思います。HTML5 を使えば、そうした不具合が一切ないので、極めてスマホフレンドリーだと言えるでしょう。

今でこそフィンテックなどという言葉が流行っていますが、実は IT から取り残されがちな金融の業界にあって最先端の取り組みを当時からしていたというのは、今後も同社が進歩の歩みを緩めない可能性が高いことを感じさせます。

ココがすごい ③

他の人のアイデアを見ることができる

自分でチャートを分析しているうちに、その考え方を世の中とシェアをしたくなる人も少なからずいます。そうした人たちが簡単にアイデアを公開できる場所が準備されているので、訪問者は無料でそれらを閲覧することができます。

この投稿サイトは読者寄りにできていて、投稿者はあとからアイデアを削除することができません。（追加のコメントは記入できる）

アイデアを大量に投稿して結果が良かったものだけ残すということができないため、投稿者の過去ポストを見れば、大体の腕を知ることができます。もちろん見る側に判断する力が必要ではあるものの、たまに良いアイデアと出会えると嬉しくなります。

投稿のビフォーアフターを見る

トレーディングビューに行けばトップページにアイデアが投稿をされているので、気になる図柄をクリックして開いてみます。

たとえば過去に私が投稿した事例をもとに説明してみると、チャートの右端に▶ アイコンがあることが分かります。それをクリックすると、アイデアが投稿されたあとの現実の値動きが表示されるのです。



↑ 事例: チャート右側の▶をクリックして投稿後の推移を表示する



↑ その後の推移が表示された事例
(ともに tradingview.com から許可を得て掲載)

緑色のシャドウが掛かっている場所が「アフター」ですね。相手はマーケットなので想定が外れることはしょっちゅうですが、気に入った人がいれば投稿をタイムラインで見えていくことができるので、なんとなく考え方の傾向をつかむことができ興味深いです。

参考までに、私のページをこちらに貼っておきます。過去の投稿なども全部出てくるので、興味のある方はご覧になってみてくださいね。

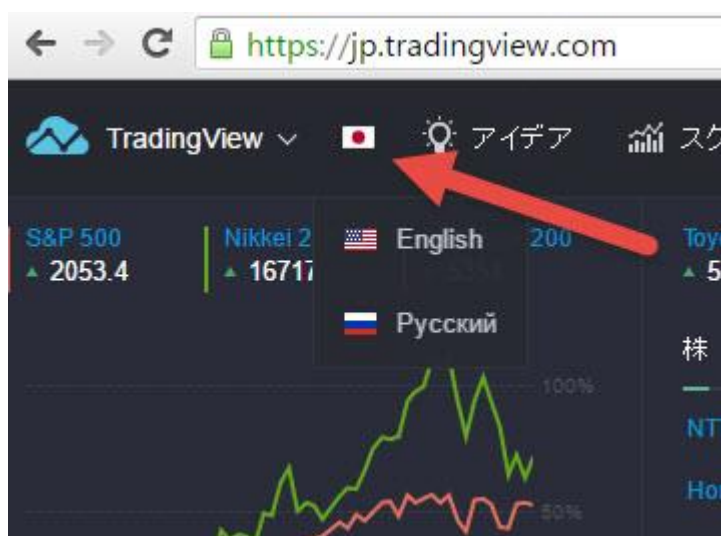
<https://jp.tradingview.com/u/Toru/>



英語コミュニティのアイデアをしてみる

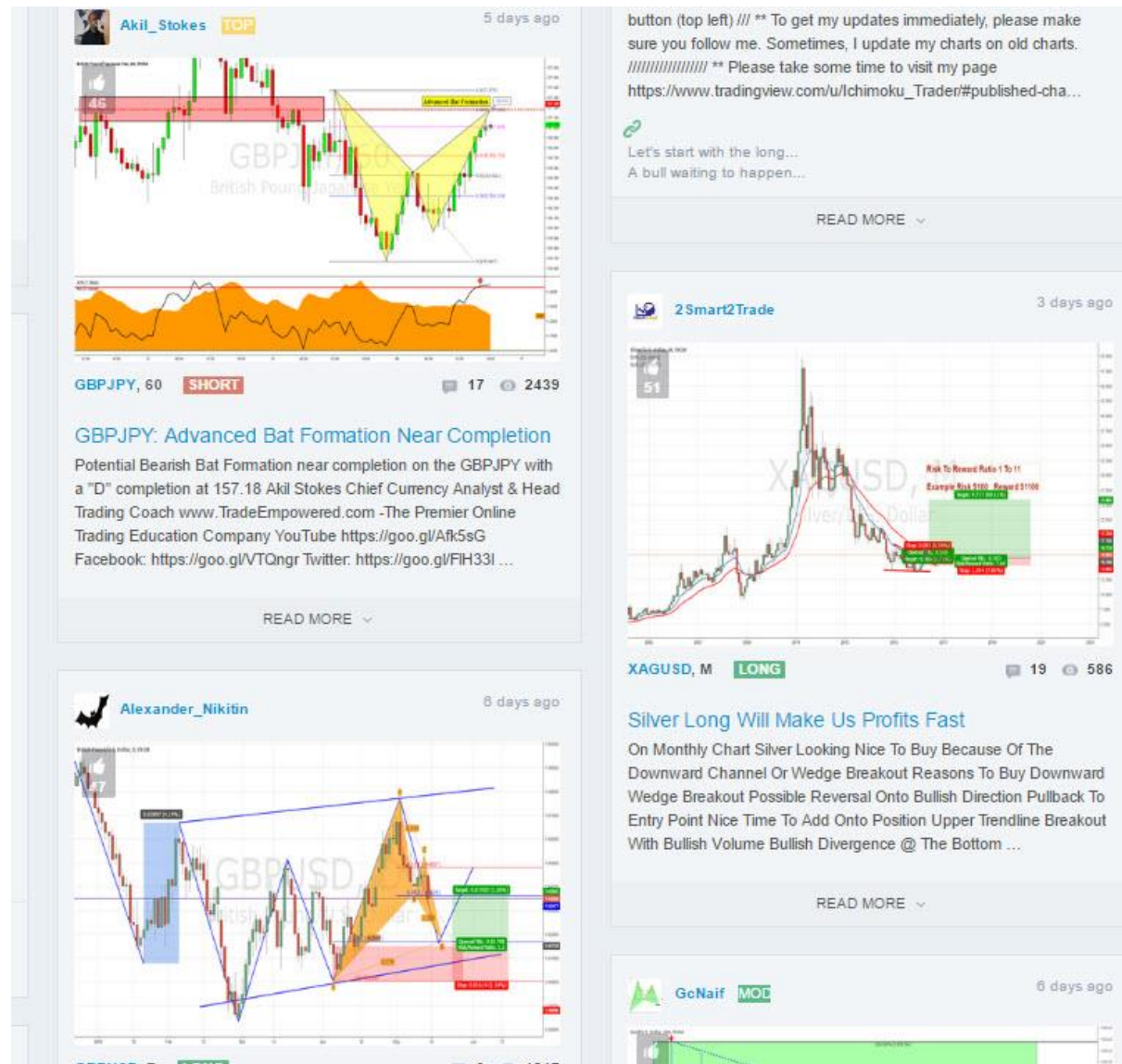
トレーディングビューは3つの言語で提供されています。英語、ロシア語、そして日本語です。日本語が入ったのは、おそらく個人ベースのFX取引では日本が世界でトップの取扱量を持っているからでしょう。中国語よりも先というのが、大変に興味深いですね。

言語の変更は簡単で、トップのナビゲーションに出ている日の丸をクリックして表示されるドロップダウンから、他の言語をクリックするだけです。



もともと英語圏から発信されたものなので、そちらで投稿されているアイデアの数が圧倒的です。言葉はわからなくてもイラストだけ見れば大抵のことは分かりますので、眺めてみてヒントを得ることも良い刺激につながると思います。

下の図は英語で表示した投稿の事例です。



最近では、ゴールド(XAUUSD)、ドル円(USDJPY)、原油(USOIL)、豪ドルドル(AUDUSD)などが多いですね。

使われているシンボル(ドル円なら USDJPY など)は日本語も共通ですし、チャートのグラフィックも同じなので、文字情報がなくても入ってくるものはあります。百聞は一見にしかずですね！

結論

オンライン技術の進化はめざましく、10年も前にFXをするなら、チャートを出すにも取引するブローカーが提供する描画システムを使うしか方法がありませんでした。

ところが最近ではトレーディングビューを始め、MT4 でも無料でクオートを出すブローカーを選ぶには困らない時代となりました。つまり取引のスタイル次第では、注文と分析とを異なるシステムで行える状況が手に入るようになったわけです。

事実、私の受講生にアンケートを取ったときに得た回答では、半数より遥かに多くの方がチャートと取引執行のプラットフォームを分けて使っているという結果が出ていました。

自分のトレードライフを作る上で使用するツールボックスの一つにトレーディングビューを入れておくのは、一つの選択肢かもしれませんね。

プロフィール

佐々木徹(ささきとおる)。欧米式のトレード方法を紹介する「ココスタ」運営責任者であり、現役トレーダー、起業家、マーケティング・ストラテジストでもある。米国テクニカルアナリスト協会公認資格 CMT 検定 1 級を保持。ベネッセ社運営の米国オンライン教育 No.1 のユーデミーにて 20000 名を超える受講生をもち、2014 年には日本人初のトップ 15 講師入り。株式会社ファム代表取締役。

ココスタ | [cocostajp](http://cocostajp.com)